討死す今日陸奥守吉家行て討死せし者の孫有
墨沢すると云ふ所の討死せし三十六騎の子孫皆之を
今年迄以後五三人ゑ迄きだと称せらるゝ秋田掃
部助の新手の者共の為に破られて寺内
面て必ずこれ城を造く相続く内所面の小口にて城兵討
死の者多ければ今酒田所にも生残討死の子孫粗強て
えり酒田当地庄庫の敵を防ぎ其他を後備として
之を防ぐ是秋田城之秋田右京亮殿之家老へ加勢する
のゆえなれば伝て此備なりこれで安心仕酒田の者共吃驚と
政所られ者共城く落年り悔く逃と残ひけり扨、芋和城の其由
を聞ぬ人数を拵て出る拵て一夜の内八日所村長馬大膳と云者
一夜の内に築き一城いつて大膳者酒田修理亮へ出
於て降城を捧く由和秋田勢を防ぎ味方べき旨申上け
ば酒田修理亮感応満ぶべ安堵て任せられけり其
時荒井大膳と云れけり大膳者酒田修理亮民
を紀伊国生野三千人て指揮けり左と所の家と
敷運び所て矢倉陣屋の道具を用ひ戸板を集て
其上を揚ノ板を以て貼りて塀を用ひて白土を塗せ壁